

記載例【第22号の3様式】

浅口市内の主たる事業所等の所在地を記載します。また、問合せ先の電話番号も記載します。

【法人番号】平成28年1月1日以後に開始する事業年度分に係る申告をする場合には、マイナンバーの法人番号(13桁)を記載します。

第二十二号の三様式(提出用)

* 処理事項		発信年月日	整理番号	事務所区分	管理番号	申告区分
通信日付印		確認印				
平成 29 年 4 月 30 日		法人番号		申告年月日		
(あて先)浅口市長 殿		1 2 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6				
市町村事務所に又はある事業主たる所	所在地	浅口市鴨方町六条院中3050 (電話 0865 - 44 - 7000)				
	名称	一般社団法人〇〇〇〇				
	代表者又は管理人の氏名印	浅口 太郎				印
本店又は本社	所在地	同上		事業種目		
	名称	同上		資本金等の額	1 0 0 0 0 0 0	

平成 29 年度 市町村民税の均等割申告書

市町村内にある主たる事務所又は事業所以外の事務所又は事業所	所在地	浅口市金光町占見新田2500			
	名称	一般社団法人〇〇〇〇金光支部			
前年4月1日から3月31日までの間に市町村に事務所又は事業所を有していた期間	平成 28 年 03 月 01 日から	同左の月数 ①		12	月
	平成 29 年 02 月 28 日まで				
この申告によって納付すべき市町村民税の均等割額	50,000	円 × $\frac{①}{12}$	②	5 0 0 0 0	
指定都市に申告する場合の②の計算	区名	区内の主たる事務所等所在地	※区コード	月数	均等割額

浅口市内にその他事業所等があれば記載します。

この月数は、暦によって計算し、1月に満たないときは、1月とし、1月に満たない端数を生じたときは切り捨てて記載します。

この金額に100円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額を記載します。

関与税理士署名押印 (電話 - -)

※この申告書は4月30日までに提出してください。